ブラジル朝日新聞
(臺日伯新聞)
伯國聖市マニストロカルチン街一一〇九
ブラジル朝日新聞社
本紙定價年六十ミル
外國郵税共百廿ミル

る出うどてし果

獨側一先づ空襲切上げ
今度は新鋭武器使用か
對英上陸作戰に新話題投ず

（ニューヨーク十九日同盟）英獨空軍の壯絶極まる制空權爭奪戦の展開により英獨決戦はクライマックスに近づきつゝありと見られてゐる、陸上部隊による上陸進撃作戦が何時敢行されるかについては各方面とも観測まち〳〵であるが、今後も大規模の空襲をつゞけて英本土の軍事施設軍需工場を徹底的に破壊して空軍の攻撃のみによつて事實上英國を屈服せしめ、陸上部隊の作戦は單なる名目上のものたらしめる新戦術による か又空襲はある程度で切上げ、適當な時機を見て陸上部隊を上陸せしめ英本土を席捲する從來の作戦の定石を行くかの二つに歸してゐる

As ofensivas germânicas contra a Grã-Bretanha

これらの憶測に新たな一材料を加へるものとして、十九日ブラッセル發AP電は獨海軍は目下フランス、ベルギー海岸において英國上陸作戦に使用する目的で新武器を試驗中で、獨海軍當局はこれをもつて世界を驚倒せしむるに至る全然新な武器だと揚言してゐるが、その性質、試驗の場所などについては極秘に付されなほフランス、ベルギー海岸に駐屯の獨軍部隊は決戦の歸趨につき頗る自信を有し何れも九月中には英本土作戦の終了すべきことを固く信じてゐると傳へられる

晴天三日續けば
英に致命的打撃
獨逸當局筋の豪語

【ベルリン十九日同盟】獨空軍の對英猛撃は英本土防衛陣地に對し相當の打撃を與へてゐるが、十九日ドイツ當局筋では、もし今後晴天が三日間つゞけば獨空軍は英本土に對し致命的打撃を與へることが出來ると豪語した、これがためベルリンの各方面では今週の英本土空襲こそはこれまでに增して更に壯烈を極めるであらうと見てゐる

バルカン政策斷念
英公使に歸還命令
ルマニアからも見放さる

【ローマ十九日同盟】信ずべき筋に達した情報によれば、英國政府は十九日ブカレスト駐在のリーパー公使に對して歸還命令を發し、同公使は數日中にブカレストを出發するに決したといはれる、確聞するに最近ルーマニア政府の對英態度は歐洲戦局の進展とゝもに根本的な變化を示すに至つたのでルーマニア政府を通じても行はれつゝあつた英國のバルカン政策はつひに放棄の止むなきに至つたものである

英軍の抵抗空しく
遂にソマリを放棄
佛軍に背かれたと負惜み

【ロンドン十九日同盟】米UP電も全部これを救出し得たといはれる

【ロンドン十九日】米UP電】政府は十九日英領ソマリランド守備の英軍部隊は遂にソマリランドを放棄撤退した旨公表した

【ロンドン十九日】米UP電】所報、英陸軍省の公表によれば英軍のソマリランド放棄撤退は佛領ソマリランドのヂブチ駐屯の佛軍が休戦協定の結果中立となつたゝめ英佛共同作戦に咀嚼を來し、これを救援するには他のソマリランドよりも重要なる地域の軍隊を割かねばならぬため遂にこれを見棄てたものだとしてゐるしかして英軍の撤退は成功裡に行はれ武器、彈藥、軍需品

【ローマ十九日】獨TO電所報、英軍のソマリランド撤退

英領佛領を併せ
伊國、勢力圏擴大
ソマリランド占領の意義

解説、ソマリランドは英領、佛領、伊領ソマリランドに分れ、印度洋よりアデン灣、紅海に臨む東アフリカの一地方であり、今回伊軍が猛攻撃の前に英軍が撤退した英領ソマリランドはアフリカの東部紅海の入口アデン灣に臨み、面積十七万六千平方キロ、人口約三十五万、ベルベラ港を首邑とする皮革類の名産地である、英國は一八八四年より同地方を保護領とし遂年その領域を擴張し一八八六年以來植民省のもとに統治することゝなつた、英領ソマリランド降伏の結果イタリアは現東アフリカ帝國より佛領ソマリランドおよび英領ソマリランドと占領地域を擴大し印度洋に面する伊領ソマリランドとの連絡に成功したのでその面積百九十二万平方キロに及び、とくにイタリアはアデン灣および紅海の入口を制壓し延いてはスエズ運河の運命に重大なる影響を與へることゝなつた

獨機隨所に活躍

【ベルリン十九日同盟】獨軍司令部發表

一、獨戦闘機隊は十九日拂曉ロンドン東方の燃料貯藏所をはじめイングランド南部の武器工場ミルフォードヘブン、ポンマス、ウエイマス（何れもイングランド南部）などのドック、イングランド南部及びリバプール附近の飛行場を爆撃、何れの地點にも火災及び大爆發の起るのを認め、江灣では數千の船舶に命中彈を與へた

二、英爆撃部隊も十九日拂曉ドイツ西部及び南部を空襲爆撃を行つた

一、十八日中の英空軍の損害は百四十七機に上つた、内百二十四機は空中戦で撃墜二十三機は地上爆破であるわが方三十六機歸還せず

獨の對英封鎖宣言
我船舶にも足止め
倫敦在留邦人引揚げに苦慮

【ロンドン十九日同盟】ドイツの全面的對英封鎖宣言は日本船の英國入港に對しても直接重大影響を及ぼすので、わがロンドン大使館では今回海軍武官、郵船支店など懐重協議の結果、現地當局としての意見を外務本省に進言した、一方氣遣はれてゐた諏訪丸に對しては郵船本社より豫定を變更して急遽リスボンに引返すよう命令したがその電報が間に合はず同船は豫定通りバプールに入港した、しかし目下英國に向ひつゝある箱根箱崎の兩船をはじめ英國向け日本船を今後どうするかについてはまだ決定してゐないが若しリスボン止りとなつて今後日本船が一切英國へ來ないことになれば在留各商社としては一段と取引も少くなるので改めて在留邦人の再引揚げ問題が考慮されることにならう、その場合に引揚げに使用すべき船がまた問題となることと勿論で、已むを得ざれば英國船でリスボンに渡る危險を冒すより外はないものと見られてゐる、諏訪丸では差當り約四十名の邦人が轉勤のため引揚げることになつてゐるが同船の豫定について獨側の封鎖宣言により改めてドイツ側との交渉を必要とすること、ならう

チューリップの國和蘭
獨の民政下に更生
石射公使、戦火の歐洲土産話

【東京二十日同盟】ドイツの猛攻に艱くも潰え去つたオランダに在つて硝煙下の帝國公使館を最後まで守り續けた石射特命全權公使は蓮見官補とその家族なみ夫人、かす子さん（六才）英子さん（四才）蘭子さん（一才）一行を伴つて十九日午後九時東京駅着歸京した公使は冒頭左の如く語つた

ドイツ軍の進撃を開始した五月一日から十四日までは

ロッテルダムとかアムステルダム、ヘーグなどの重要都市は毎日のように空襲と市街戦の連續で、公使館の前でも連日のように市街戦が交されるので、私達は壁と壁との間に難を避けてゐた、十四日以後はドイツ軍の占領下で外國使臣は全部鎌詰食料には不自由しなかつたが、國内の模様が外國に漏れてはといふので行動を束縛された、七月十六日ドイツ政府の希望を容れて公使館を閉鎖すると共にヘーグを引揚げて來たが、現在のオランダ國民はドイツの民政下にあつて各々堵に安んずるといつた感じだ、ドイツ流の統制が漸次強化されてはゐるが元來が自由主義的な國民を漸進的の統制に馴らして行くといふ遣り方で實にうまく行つてゐる

八月中旬
對外貿易

【東京廿日同盟】大藏省發表八月中旬における本邦對外貿易概算左の如し（單位千圓）

輸出	六五、五七五
輸入	八六、二四三
入超	三、六六七
一月以降累計出超	三四九、二四三

輝く我が戦鬪機
史上空前の爆撃行
重慶襲下に必中彈

【〇〇基地十九日同盟】十九日海陸兩航空部隊は重慶を攻撃これに殲滅的打撃を與へた、この日海軍航空隊の戦鬪機〇〇機は爆撃機と共に戦鬪は見ず支那派遣軍報道部十九日發表陸軍航空隊は十九日海軍航空部隊と極めて密接なる協同のもとに重慶に對する攻撃を實施し、午後三時四十分重慶市内の敵軍事施設を猛爆し全彈命中數ケ所に大火災を起さしめ甚大なる成果を收めたり、我に損害なし

【〇〇基地十九日同盟】十九日海陸兩航空部隊は重慶を攻撃これに殲滅的打撃を與へた、この日海軍航空隊の戦鬪機〇〇機は爆撃機と共に戦鬪は見ず支那派遣軍報道部十九日發表陸軍航空隊は十九日海軍航空部隊と極めて密接なる協同のもとに重慶に對する攻撃を實施し、午後三時四十分重慶市内の敵軍事施設を猛爆し全彈命中數ケ所に大火災を起さしめ甚大なる成果を收めたり、我に損害なし

時四十五分重慶新市街國民政府行政院等主要事施設に對し爆撃、六個所を炎上せしめ全機無事歸還せり、敵戦鬪機ならびに地上砲火は見ず

モンロー主義傘下へ
加奈陀も愈よ加はる
米加共同防衛協定成る

【オツタワ十九日同盟】マクドナルド加奈陀海相は十九日記者團との會見において米國カナダ共同防衛協定成立に伴ひ、米國は何れ驅逐艦の對カナダ讓渡を行ふことになつたと次の如く言明した

米國カナダ共同防衛協定成立の結果、米國は目下使用してゐない驅逐艦數隻をカナダに引渡すことになつたと思はれる、カナダ海軍は多數の將校ならびに訓練された水兵を有してゐるから自治領防衛のため軍艦が讓渡されゝば直ちに兵員を配備する準備が出來てゐる

【オツタワ十九日】UP電所報、ルーズベルト大統領並びにマッケンジー・キング加奈陀首相會談の結果、米加共同防衛協定成立し兩國參謀本部代表よりなる海陸空防衛審議會が設置されたが、これに關して米加兩國共同防衛その他に關する條約締結も來る廿二日頃本極りとなる模様である

しかしてカナダ官邊筋では次の諸理由をもつて今回の米加首脳會談を重視してゐる、即ち

一、カナダは遂にモンロー主義の範圍に加つたこと

日米交渉成立まで
一時的措置を決定
上海租界警備問題に折衷案

【上海二十日同盟】英國軍撤退後の上海警備地區問題に關しては去る十五日の共同防備委員會でD地區を日本軍に、B地區を米國軍に引き渡す旨議が多數決をもつて通過したわが方は現實事態を無視した

この決定に承服し得ないので右B地區における警備任務を共同租界工部局義勇團に擔當せしめる案を受諾した、なほ共同租界參事會はこの措置に同意する旨同時に租界工部局總務局から發表された

立するまでの一時的措置として右の權利を留保し、その儘一應物別れとなつてゐた

根據地の代償問題
驅逐艦讓渡に反對
米政府、强制命令で押切るか

【ワシントン十九日同盟】西半球にある英國の海軍根據地に對する英米兩國交渉は愈よ今週中に重大發展を豫想せしめるに至つた、元來本問題に關してはルーズベルト大統領の發表以來、議會ならびに陸海兩方面とも既に原則的に滿幅の支持を表明してはゐるが、英の對米海軍根據地提供に關する米側の代償については、なほ異論囂々たるものがあり、英國側が明白に讓渡は米國を參戦に捲込む第一段となる虞れありとして反對してゐるのに對し

ルーズベルト大統領は個人的には同意の傾向を示してゐる模様であるが、海軍側では斷然反對の態度を示してをり、また議會内の孤立派も驅逐艦讓渡を要求してゐるのに對し

一、キング加奈陀首相は西半球防衛に關する誤り英帝國を代表して發言でき、從つて米政府の對英交渉につき具體的提案を行ひ得ることの三點よりして實現の可能性なきにしもあらずとされてをり、且つ米國がトリニダットニュフアンドランドおよびバーミューダ、バハマ、ジャマイカの各根據地の獲得に躍起となつてゐる點から見て或は米當局は强制命令によつてこれを斷行するのではないかと見る向もある

二、西半球防衛に關し英米協力の方策樹立にカナダの重要性倍加せること

根據地の獲得によつて國防上得るところが多いこと

二、週末の輿論調査の結果は驅逐艦讓渡を可とするものが六二％を示してゐること

三、ウイルキー共和黨大統領候補も對英物資的援助問題を政爭の使途においてゐることに亘り共同租界、西安寺路、競馬場において三浦總領事を始めはじめ各國總領事及び駐屯軍司令官臨席の下に名殘りの軍樂隊行進を行ひ終了後直ちに乘船、十九日深更から二十日午前中にかけ某方面に向つて出帆した

一沫の哀愁漂え
上海英駐屯軍去る
名殘りの軍樂隊行進

【上海十九日同盟】北支部隊の撤退に續く英國上海駐屯軍の引揚げは愈よ十九日深更から開始された、過去四十年來の護りを棄てゝ某方面に赴く上海駐屯軍イーストサーレイ第一大隊及びシホースハイランダー第二大隊中の一部は十九日午後六時半より約一時間

外陸海三相會談
南方問題を討議

【東京廿日同盟】松岡外拓相は廿日の定例閣議散會後東條陸相ならびに吉田海相の居殘り方問題につき意見の交換をとげたが、その結果小磯大將は同日中に近衛首相と會見することなつた

【東京廿日同盟】松岡外拓相は廿日の定例閣議散會後東條陸相ならびに吉田海相の居殘り方問題につき意見の交換をとげたが、その結果小磯大將は同日中に近衛首相と會見することなつた

【漢口十五日同盟】漢口總領事館領事河崎高義氏は十八日夜狹心症のため急逝、享年五十四

河崎漢口領事

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(The Yokohama Specie Bank, Ltd.)
Rua da Candelaria N.° 23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro

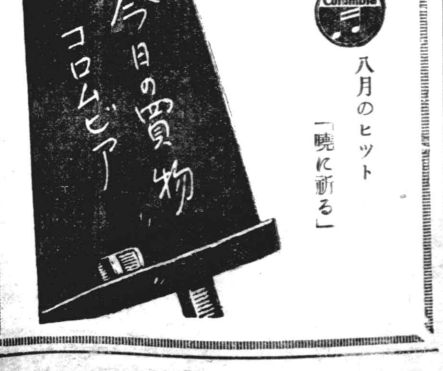
切り取り手紙へ

郷里送金
御郷里への御送金は送金人一人受取人一人に付き毎月二コントス迄許可せられます。送金特別税五分（五％）は弊店への御送金額中より差引き申受けます。
郷里送金爲替は爲替管理法上特別自由爲替と申しまして一般の爲替取引から隔離されて居りますので相場も一般の爲替取引相場とは關係のない別個のものであることを御承知置き御願申上げます。

伯貨預金
定期預金 六ケ月以上 年三分半
特別當座預金 年二分
外に當座預金（小切手）も御預りしますが日本貨預金は御取扱ひ致しません。

横濱正金銀行
リオ・デ・ジャネイロ支店

高原の爽快を唱ふ
伊藤久男
〔と〕
海洋の勇壯を謳ふ
霧島昇
いづれも調子も輕いリズムに乘つて
八月新譜



八月のヒット
「曉に斬る」

革新日本の胎動

骨組、性格も明瞭化し
新體制運動日に進捗
今週末には聲明發表の運び

【東京二十日同盟】新政治體制の聲明文案については富田書記官長が中心となり軍民官各方面の意見を參考として新體制の指導理念組織大綱を盛り込みこれが調製を急ぎつゝあつたが、本筋についてはほゞ纏つたので、近衛首相は右文案の最後的仕上げを待つて念よ今週末又はおそくも來週早々準備委員會を召集し同時に近衛公の名による新政治體制の指導理念を廣く中外に公表することゝなつた、準備委員の數は約三十名でその人選も決定した模樣であるが、陸海軍よりの委員については富田書記官長と軍部との間に交渉中のところ、他との振合上東條陸軍、吉田海軍兩相が委員として參加、武藤陸軍、阿部海軍兩軍務局長は内閣三長官と共に幹事役として參加することに決定した模樣である

【東京廿日同盟】東朝所報、近衛公の政治體制運動は日と共に進捗を示し、具體的發足點たる近衛公の聲明發表の時期が近づくにつれて、その骨組みが明らかにされて行くようである、この新體制組織の中心たる中央機構の組織と性格については纏り次第各方面の議論が最も集注されてゐた點であるが、近衛首相が新體制をもつて万民翼賛の理想實現のための國民組織たるとする既定方針にはいさゝかの變動もなく、この組織の中央機構としては矢張り中央指導部とでも呼ばるべき機構が結成され、これは翼賛の政治推進力であるが、限られたる利益代表の政治力でない、從つて中央指導部は政治結社ではなく從來の部分的利益代表團たる黨といふ觀念を與へるものではないとしてゐる、この中央機構の性格の點を續いて前週來行はれた議論も亦同志會は別として大體右の方向に諒解を得るに至つたようであるから、新體制具現の準備は圓滑に促進されるであらう、しかして劃期的聲明案文は近衛首相を中心に整備を急いでゐるが、その内容は單に新體制の理念と枠組みに止まらず、最近議論の集結された新體制が從來の政治結社とは異る形であらねばならぬ點に迄で細かく觸れて行く方針をとつてゐる、準備會の顔觸れも構想の進むにつれて當初とは多少人選に變化を來したようだが、準備委員ならびに事務局の構成分子の詮衡も進んでをり、委員會には他との振合ひ上陸海軍からも大臣が加はり、軍務局長は書記官長と同列の幹事的地位につく模樣である、これらが順調に進めば下中旬にも準備會結成に漕ぎ付ける見込みもついたようである、なほ近衛首相は準備會結成に當つては一國民たる近衛公としてこれを招請したい意向である

國民組織の下部構造
所帶主中心の隣保班を單位

【東京廿日同盟新】政治體制に適應する國民組織の下部構造たる地方組織については、目下新體制運動首脳部および内務省、企畫院などにおいて檢討を續けてゐるが、大體隣保班を基礎として一貫せる系統的常會組織により全國民を組織化して政府と國民との結び付きを上意下達、下意上達に解消し、最近の情報によるとドイツ式隣保制後主義ベタン元帥のいわゆる新體制に呼應してゐんとするもので、その内容は左の如きものと見られてゐる

一、該下部組織を構成するものは十所帶乃至三十所帶を單位とする隣保班とす、隣保班は各所帶主を中心とし、家族組織は左の如くにす

中央、道（又は州）府縣、郡市、郡の下は町村、部落、隣保班、市の下は區、町會、隣保班、但し郡は現在の數を郡をもつて一郡とし全國約二百程度とす

一、道（又は州）府縣以下の各組織單位毎にそれ〳〵隣組常會、部落常會、町村常會、郡常會の如き（又は協議會）

一、常會は月一回定例の會議を開き國民生活に關する凡百の事象を議題とし、上意下達、下意上達の機關たらしむ、常會は廣範圍の自立性を有す

一、町村常會には部落代表者のほかに諸學校長、產業組合會長、警防團長、在鄉軍人分會長、青年團長その他各種團體代表者、必要に應じては警察關係官なども出席協議す、町村以上の各組織の常會も亦これに準ずる各團體の代表者を出席せしむ

一、各常會に總務、教化、厚生、產業、金融、警備などの事務を分擔する機關を置き、それ〳〵企畫執行の任に當らしむ

一、各組織常會の最高指導機關を中央指導部（又は委員會）とす

一、常會の指導は當該組織内の有能者のほかに府縣郡市などには專任の指導者を置く

一、產業組合、商工業組合など職能を基礎とする各種產業團體、產業報國會、農業報國會など職場單位の各種團體、その他各種文化團體營利團體などに對しては統合すべきものはこれを地域的組織に統合吸收し、しからざるものはそれ〳〵獨自の系統による組織を形成せしめ、これらに對しては中央ならびに各地方組織において密接なる聯環を有せしむ

北支纖維商品統制機構成る

【北京十九日同盟】華北綿糸布商組合は綿糸布の外、人絹毛織物及び纖維屑をその配給統制下におき、事實上北支における纖維商品の一元的輸入配給統制機關となつたので、今回これを改組し華北纖維組合を設立することゝなつた、新組合は從前通り本部を北京支部を天津、青島、濟南におき各支部に綿糸布部、絹、人絹糸布部、毛織物部および纖維屑部の四部をおき公官用綿糸布ならびに人絹糸布は本部の直轄とし、北支における纖維商品の統制機構は名實ともに整備される、なほ新組合の創立總會は九月上旬の豫定である

名物寒天も統制
統制會社長に永田さん

【東京廿日同盟】わが國獨特の生產品たる寒天の年產二千万圓、輸出額二百万片の原藻共同購入ならびに販賣統制を目的とする日本寒天統制株式會社（資本金二百万圓二分一拂込み）の創立總會は二十日赤坂三階堂に開かれ創立に關する諸般の手續きを完了し社長には永田秀次郎氏が推薦された

猶太人、黑人は追放
歡樂街にも獨乙風万々歲

フランスは一章更生の道を辿つてるようだ、今次大戰を惹起した元兇達の斃理、いや政治向のことは抜きにしてパリがパリたる所以の歡樂世界を覗いて見よう、パリの歡樂街も自粛の嵐が吹いてゐる、その最初の現れは劇場界、キャバレー、ダンシングからユダヤ人や黑坊の追放だ、俳優はもちろん監督、支配人、興業主までユダヤ人、黑人の異人種は追はれ、その代りに純粹のフランス人にドイツ人が登場する有樣、アメリカ國籍の白黑混血の唄姫ジョセフイン・ベーカーも舞台から消えた、この他巴里人好みの例のカフエ・ダンサンテの黑坊の踊り子多數は失職した、戰爭後火の消えたようなナイトクラブもぼつ〳〵開いて來たが、その多くはユダヤ人の支配人らはフランス人若くはドイツ人に取つて代られた、フランス人もユダヤ人の弊害に目がさめたのだ、映畫界には無數のドイツ人がをるが近頃出るフヰルムには「純粹なフランス人脚色の純粹なフランス映畫」とわざ〳〵斷はつてある、名優サツシヤギトリはフランス人で戰後最初に現れた一人だオペラも近く開くが演し物は獨文豪ゲーテのファウストだ、映畫館四十九も開いてるが古いフランス映畫とドイツのニュース映畫といつた有樣である

……

……

その後のパリは一體どうなつたらう……敵方のドイツ人まで嘆賞する世界的都市、歡樂の都はどんな變貌を呈してゐることだらう……

最近の情報によるとドイツ式隣保制後主義ベタン元帥のいわゆる新體制に呼應して

水上競技大會
各選手好調
畑野孃も新記錄

【東京十九日同盟】十九日の日本水上競技大會男子二百米平泳で葉室鐵夫（日大）二分四三秒四、千五百自由型で日大の津田國男、稻泳會の田中永作十九分三十一秒六でそれ〳〵本年度世界最高記錄及び女子二百自由型で畑野ふみ子が出てゐる間に伊は在阿英植民地を月ソ端から漸取らうとの算段、本舞臺から遠いからうち〳〵英一見淑手ではないが▲本來今次大戰の目標が植民地、資源の公平な分配にありとされ、ム首相の野望また地中海を己が湖とし進んで歐阿にまたがる大羅馬帝國の再現にあるとの經略は伊太利にとつて重大事といへよう▼ソマリが片付けば殘るは伊領リビヤとエチオピヤの間に孤立さらす英領スダンを押へれば、伊はシリヤ、チュニス、リビヤからスダンを經てエチオピヤ、ソマリと連鎖できる▼卽ち北は地中海岸から南は紅海、印度洋岸へとファッショの風が吹くこうなれば埃及もやがては英手で業のつかみ取りなんて任合せも望めるかも知れぬ▲何れにせよ獨ソ勢力の錯綜せるバルカンよりアフリカに手をつける方が、ム首相にとつては早道だし怪俄が少い道理であらう

駐日濠洲公使館
參事官決定

【キヤンベラ十九日同盟】マツキンレイ濠洲外相は十九日新設駐日公使館參事官にフランク・キース氏を任命した旨發表した、その他の公使館員については未定であるが近く商務官及び二等書記官決定發令を見る筈で、レーサム新任駐日公使は館員任命決定次第赴任する筈である

これは意外
響びかぬ大戰
サントス港の出船入船

257 embarcações com 607.512 toneladas
entraram em Santos no mez de Julho

歐洲戰の進展につれサントス港における出船入船は激減を予想されてゐたが、七月中においてはイグリー、フランス兩國船の入港殆んど止つたに拘らず出入總隻數はそれ程減少してはゐない、卽ち六月中サントス港入港の船舶は二五隻、六三五、六五一噸であつたが、七月中には隻數では二五七隻で五隻を增加し、噸數では六〇七、五一二噸で僅に二八、一三九噸の減少に過ぎない、なほ同期間入港船舶を國籍別に色分けするとブラジル船が第一位を占め、外國船ではアメリカ、イギリス、ノルウエーの順位で日本は五位を占めてゐる、これを表示すると次の通りである

國籍別	入港隻數	入港噸數
ブラジル	一六六	三〇、七六〇
アメリカ	一四二	二七、一〇六
イギリス	八	二一、七七七
ノルウエー	一九	二〇、六六〇
日本	五	一三、五六八
パナマ	四	三、三八〇
スペイン	四	二、六四〇
スエーデン	一	九、六六〇
ポルトガル	一	八、三〇八
オランダ	一	五、九七一
アルゼンチン	一	三、三三五
チリー	一	二、八二三
フインランド	一	二、〇〇一
レトニア	一	一、三三三
ポーランド	一	一、二四三
總隻數	二五七	六〇七、五一二

▽…マリ、アヂ郡の一九四一年度歲入予算は三千五百コントで、前年度に比し著しく增加であるが、これは增稅によらず全然マリ、アヂ市の膨脹によつて增加したものであるからよい

▽…聖州工業聯盟では來る九月七日の伯國獨立記念日をトして行はれる工業展覽會の準備に忙殺されてゐる

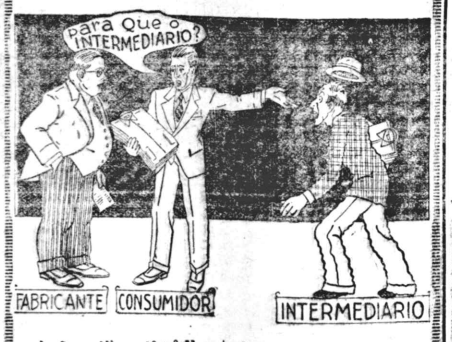
▽…バウリスタ線ジャウー近傍は州内有數の珈琲地帶であるが、同地產業組合では十七日昨今の戰爭による珈琲相場の變動ではやり切れぬ、今季サラに對し伯國銀行の融資方陳情した

▽…聖市々役所では本月十五日までに十五万五千百二コントを徵收してゐるが、一九四〇年度歲出予算は十五万コントである、卽ち既に五千百二コントの黑字を出してゐることになる、躍進都市のお台所は素晴らしい景氣だ

▽…來月一日アデマル執政官はプレシデンテ・ブルデンテを訪問することになつてゐたが、同日は聖市でカシアス公の記念祭式に臨席するためブルデンテ訪問日程は延期する旨發表した

▽…來る廿三日より向ふ一週間リオ市でフェルナンド・コスタ農相の肝入りでバラ栗週間が催される

▽…ブラジル製鐵業に對する北米の融資問題に就て、ブラジル代表ギンレ氏が目下ワシントンで交渉に努力中と傳へられてゐるが、USスチールなどの民間資本の投資は時節柄望み薄と傳へられる



カミーザは
普通の賣店で買はず
南米最大の工場
を有する弊店でお買求下さい

カミーザ・ポプリン
ゴムフイツクスのカラー付
縮付の必要なく
皺にならぬ
品物で、市場で
23$000, 25$000, 28$000
する品を犧牲的に
10$8 11$8 12$8
で弊店は販賣致して居ります

カミーザ・デ・ルーシヨ
シヂナル製
縮まず
絹に勝り
絹より安く
永持のする
パウリスタ……29$000
スプリーメ……32$000
パンデイランテス……36$000
ラインニア……39$500
ロード……37$000

インデペンデンシア……57$000
犧牲的割戻斷行
シヂナル製カミーザをお一人に付一枚宛
無料で提供中の
メチヤクチヤ大賣出し續行
S. A. Fabrica Paulista de Roupas Branca
Rua 15 de November, 184
Avenida São João, 243

オーペル
完全に改裝されたる新品同樣
一リツトルで十二キロメートル走る、價格低廉
御問合せは聖市 Rua Belem, 275

齒科 古澤
ブタンクン大通り中間 コチア道の向側 エステヴヌン・ロツペス街一七

貸家
在トーマス・デ・リーマ街四二四番、上品な造りの大きな家
御問合せは聖市エスツダンテ街三番に
正午より午後二時まで
R. Estudantes, 251 S. P.

祝發刊
祝汎ノロエステ陸上競技大會
祝リンス市邦人運動場完成
太田久治郎
リリア市

祝汎ノロエステ陸上競技大會
本田亭
リンス市本田授産店
郵函二〇三

祝發刊
祝汎ノロエステ陸上競技大會
三宅壽一
グワララペス

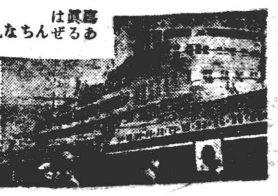
祝汎ノロエステ陸上競技大會
祝リンス市邦人運動場完成
今田求
リンス市

ブラジル朝日新聞の發刊を祝す
福原信義
カフエランヂヤ市

はずむ話題の双曲線！

あるぜんちな丸十九日リオ入港

親善代議士團 一先づ亞國へ
二十九日空路來聖
急行日程！奥地訪問は中止



あるぜんちな丸は眞鶴

既報、二十萬同胞がお世話になつてゐるブラジルへお禮と認識を深め今後の親睦親善關係を益々緊密にさせたいとあるぜんちな丸で視察訪問の旅に上つた衆議院議員團一行は去る十九日朝リオに到着した一行は

▲團長　田中武雄（兵庫縣選出代議士、民政黨、青山學院卒、五十二才）

▲團員　今井健彦（千葉縣選出代議士、政友會中島派、早大政經科卒、五十七才）

▲同　石坂豐一（富山縣選出代議士、政友會久原派、六十六才）

▲同　最上政三（群馬縣選出代議士、民政黨、中央大學卒、五十才）

▲同　西澤松四郎（衆議院書記官、長野縣、東大獨法科卒、三十八才）

の五名で、リオには上陸せず同船でブエノスに直行、來る廿九日空路サントスへ引返し同日サンパウロ訪問する事になつてゐる

聖市には來月二日迄滯在し執政官訪問後市内及び郊外、カンピーナス東山農場等を視察夜は在留邦人の歡迎會に臨み三日午前飛行機でリオに飛び五日リオでレセプションを開催した後六日出帆のあるぜんちな丸で歸途につく由で最初の計畫であつた聖州奥地訪問は時間がなく取り止めとなつた

なほ田中團長は船上で伯字紙記者に對し

かねてより話に聞いてゐたブラジルを今回初めて訪れることが出來たことは非常に嬉しく思つて居ります、云々

と挨拶を述べた

暑中休暇を利用 父大使を訪問
……桑島二世來伯

十九日リオへ入港したあるぜんちな丸で桑島大使の御曹子東京帝大在學中の一男君が夏季休暇を利用して父大使を訪問すべく憧れの訪伯旅行にやつて來たが、愛兒を船まで出迎へに行つた桑島さんはニコニコ顔であつた

（寫眞は船上に於ける桑島さん父子、向つて右より三人目大使、次が令息）

……滯日印象記を書きたい……
ペン使節 ソウザ博士

日本觀光局よりの招待で東亞の盟主ニッポン視察中であつた伯國ペン倶樂部會長クラウヂオ・デ・ソウザ博士夫妻が日本ペン倶樂部より贈られたメッセーヂを携へてあるぜんちな丸で歸伯したが、博士は五ケ月に亘る日本及び滿洲、支那旅行記書きたいと語つた

日本品を たんまり仕入れて
二ミル店の御主人 公歸る

邦人とも馴染みの聖市二ミル店ロージヤス・レウニダスの御主人公ニコリー・ペピ氏がたんまり日本品を仕入れてあるぜんちな丸で歸伯、同氏は家族や多數の友人達に迎へられ乍ら滯日中の感想を次の如く語つてゐる

長期戦線

……リオに着いたお塚夫人長谷川敏子孃の相手ビンカートンのタンゴ、トマスのテナー、トマスの役にはボルトガル人つとめる事になつた

◆…ペルー政府では今後ペルー國生れの外國人二世で兩親の本國に勉學などのため渡航する者はペルー國籍を離脱せしめるとお達しを發した

◆…「紙上ビル」なんて有難くない綽名を頂戴したブラ拓ビルもいよ〳〵工事を開始してゐるが、お隣のミツワ旅館では屋根まで半分ペロリとはがれ、その上毎日ドガン〳〵と地下工事をやられたら家が潰れてしまふと悲鳴をあげ、ブラ拓さんにんなとかなりませんか……と陳情してゐる

◆…日本病院片山事件の責任などで淋しくなつた日本人歸つた前事務長の原口さんは、その後移住組合聯合會に入つたが既報の三博士といひこれで病院歸國組も一應片づいた譯

◆…マリリヤ農業者懇談會は九月同地商業組合本部に開かれたが昨今の珈琲市價動搖に農業者は大恐慌を來してゐる、聯邦珈琲院はこの際八十ミルの基本市價を制定買上げを行ふべき許可を大統領に陳情してゐる

◆…ラファエル・ベグンヂといふ伊太利人の地震學の先生が、今年中にチヤコ東部よりアルゼンチンに亘つて地震が起きると警告してゐる、おどかすない！

◆…既報、髭操爺さんこと岡田英定老の主催する早起體操會第三回證書授與式が去る十八日午後一時から同氏宅で健康を誇つて催された、來會者十數名、先づ戰沒將兵へ一分間の默禱した後裏庭でイチニサンと男ましく實演した

◆…邦人の懐ろを狙つて日く皇紀二千六百年記念何々發展錄、曰く何々縣人錄と雨後の筍の如く續出してゐるが、その中には金の集りが悪いからと勝手に中止してゐるのやら、金をあつめてそのまゝ日本へサヨナラせんとして旅券手續きまでして總領事館からチヨツト待てと斉證を止められたものなど馬脚をあらはしてゐるものもある、民族の光榮皇紀二千六百年を祝するはよい、だが、濫用を慎しむのは電氣、ガスの類ばかりではない、在留邦人よ奉祝を濫用より護らねばならない

深夜の事慘

カンポス發電所工事技師 何者かに撃たれ死亡
日本から來て僅か二週間・原因不明

去る十八日曉方リオ市つてゐたタクシーに轉ぶようにクマングレー街四十五番地のタクシー置場にて倒れ、ラツパ歳場に四十年輩の一邦人が氣分でも悪いらしく歩行も困難な様子で現はれ、折よく留に乘り込んだが、口も利かず出るにも困難の様子で、車外にて倒れた、驚ろ

（絶命）した

名刺中のタマングレー街五四番にはブラ拓社員横井氏が住んでゐたが同氏の言によると瀬川（三六）氏は現在共榮會が請負ひエ事中のカンポス發電所現場會計として二十日前滯水組から派遣されて來伯した技師で、十七日發電所工事場より歸る事になつてゐたが宿には歸らず何處かで夜を明かしたものと思はれると語つてゐる

瀬川氏負傷の原因は未だに不明であるが、一説には紅燈の巷を散歩中何かの間違ひから奇禍に遭つたものと見られてゐる

ブラ拓總支配人 加藤氏語る

右についてブラ拓の加藤好之氏は語る

リオ共榮會の事務所から死亡した旨電話があつたが瀬川氏は滯水組から現場會計

痛打熱風を裂き 球魂蒼空に高鳴る
全伯野球 汎ソロ優選
マッシヤード軍 實力の制覇！
サンタクルースの反撥も空し

本社後援第五回全伯野球大會汎ソロカバナ優選大會は去る十八日ソロの古都サンタクルス市球場に於て中ソロの勝者サンタクルースと奥ソロの覇者ア・マッシヤードとの一戰を以て華々しく行はれた、サンタクルース軍はオウリーニョス、パラグワスを輕く抑ツシヤードはブルデンテ以下奥ソロの群雄を退け中ソロに勝を進め此古豪、この顔合せは本年度ソロカバナ練球界の最高峯ゲームとして一般注視の的となり、地元ファンは昨年の雪辱とばかり物凄い氣勢を擧げれば連路ものともせず押掛けたマ軍の應援團もこれに呼應して戰前より凄壯なる雰圍氣を醸し出すうちに定刻午前十一時汎ソロ優勝旗を捧するマ軍佐々木主將を先頭にサ軍これに續き中央に整列、優勝旗返還、成田總務の開會の辭、齋藤總裁の挨拶、引續き總裁の見事な始球式によりいよ〳〵決戰の火蓋は切られた

サ	0	0	0	0	0	0	0	0	2
マ	3	0	0	0	4	3	2	0	A

12A–2

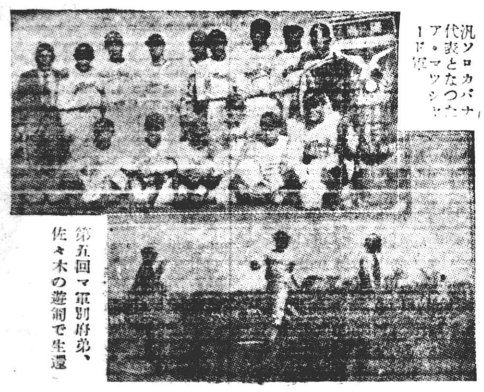
サ軍は至實笠井投手調み代る川端投手も病後で體力に欠け勞頭よりマ軍の痛打を浴びて早くも暗い影に悩み投手の故障は直ちに内外野防禦線に反映して常の如く磐石の守備は見へずクイムリー過失を繰返し第一回に三點を奪はれ完全に壓倒された、しかし川端投手王女すす汗を打振るひ死投よくマ軍の猛攻を抑へ遂、曲、緩を適當に配して効を奏したか四回又もやマ軍の猛打に抗し兼ね四點を許してより笠井投手悲壯な意氣を肩宇に溢らせて出場防戰つとめたが、これ又球威なく六、七兩回に五點を追加せしめ十二對零マ軍絶對優勢裡に最終回に入つた

サ軍最終の意氣を漲らし川端死球に出、一死後二盗藤田一塁左を拔いて川端を還し更に込堂見の三飛失などで好走藤田も生還して二點を酬ひたが結局十二A二でマ軍が優勝するところとなる、かくて榮えの優勝旗はマ軍の佐々木主將の手に授與されてマツシヤード軍に聖市本大會出場權が與へられた

△バツテリー

サ軍川端、笠井—込堂見

マ軍二ノ宮—別府弟



汎ソロカバナ代表となつたア・マッシヤード軍

第五回マ軍別府弟、佐々木の遊撃で生還

躍進街道 蔦ら プルデンテ近況
附近入植者も急增

躍進街道を蔦進するプ・プルデンテ市、壯麗な市營公園を始め都市計畫も着々と進捗、奥ソロの雄として急激にその面目を一新せんとしてゐるが、同市を中心に展開する廣大な肥沃地を擁しその將來はますます好望を約束されてゐる、近年附近入植者も激增の一途を辿り今年に入つて早くも二百家族に余る入植を見てゐるが、万作地を訪るプ・プルデンテ地方の定評を裏書きするかのやうに近年稀なセツカも何んのそのと各植民地のバタ一丸となつてプルデンテ繁榮は至極の上作値段も四十ミル代で飛ぶやうな賣行きに彌上の活況を呈してゐる、同市在留邦人と附近在住邦人が一丸となつてプルデンテ繁榮に邁進する姿は誠に頼母しい限りだ

伸びる鐵路
バストスに驛が出來る

パウリスタ鐵道延長線はトツパンより更に伸びてバストス停住地のサンルイス町寄りの地點を通過する予定になつて居り目下測量を開始してゐるが、ブラ拓では開墾地として百五十域を買渡した由で、鐵路完成の暁はバストス移住地は一段と繁榮することになつた

赤誠は續く！
＝汎リンス青年＝
長期國防献金

綜合運動場建設や全ソロ大會リンス青年會では國防献金も長期募集を續けてゐるが、これへと忙しい活動を續けてゐる

一金百ミル也　サンジョン支部

一金百ミル也　ポンダーデ支部

一金八十三ミル百レース也　相愛會リンス支部

一金百ミル也　永淵敏祓、牛野八重子、小野美津子

一金三十ミル也　伯人サルバドル・シヤキンター

一金百ミル也　ナタール支部

一金二百二十九ミル五百レース也　リンス本部員一同

一金五十ミル也　大坪義一

リツケーザ植民地在住蔡酒合計八百二ミル六百レース也

記念

バラナ陸上軍 本日着聖

全伯陸上競技大會もあと三日の後に迫つたが、パラナ代表軍一行十七名は菊地監督に率ひられて本日着聖の筈、選手名は左の通り

菊地（選手兼監督）小笠原（主將）、宮地、中牟田、森本田、櫻井、曾我部、清水朝倉、今川、松尾、木場田江頭、丹、渡邊、阿部

珍らしや！ スペイン船入港
＝身賣り米船の成れの果＝

十九日リオに珍しくもスペイン船が入港して港の話題を賑はした、それはマリアベバ號（二萬一千トン）で元米國ダラーラインのプレジデント・ウイルソン號がスペインの武器商イバラに身賣りしたなれの果、同船々長の談によると一刻も早く出港したいが、航海許可證がないと本國へは歸航できぬのでそれを待つてゐる由で、船客は〆て八十六名大多數はスペイン人でこの平和な南米を後にして、スペインは中立國とは云ひながら戰渦の歐洲へ歸つて行く人々である

世界豆新聞

▽…ロドンンには目下諸威、波蘭、和蘭、チエコの四ケ國政府がありその軍隊もキヤンプしてまるで國際都市の觀を呈してゐる各國兵隊それに植民地兵は一様にカーキ服だが、形は様々でこの中に海空軍だけは青色で目立つてゐる

▽…佛軍の損害については未だ確な數字は判らないが、推定によると最後の卅八日間に戰死十萬、捕虜二百萬には達しようと云はれる

▽…高級車で有名なクライスラー自動車會社々長ウオルター・クライスラーは二年越の病に勝てず享年六十五で死去

▽…妻君の方が高名な英飛行家モリソン君、リンデイ大佐に喰つてかゝり悪怖症へかゝつた劣等感の所有者だと毒吐いてゐる

▽…獨軍の新兵器に對抗して英軍も敵機を空中で捕獲する新兵器を使用、バツタを押へるように捉へてるといふが少少眉唾物だ

▽…ファシスト黨機關誌の發表によると今次大戰終熄後ムソリーニ、ヒツトラ兩巨頭は占領地域からユダヤ人をアフリカに追放する事にならうと

伯國々軍の建設者 カシアス將軍記念週間

パラガイ戰で聽名を馳せ伯國々軍の建設者として高名なヂーケ・デ・カシアス將軍の誕生日たる十九日を記念して全國的に「ヂーケ・デ・カシアス」週間開催されたが、聖市では十九日ラ・ド・ブラジル」の時間を割いて記念式を擧げ、聖州第二軍團長マウリジオ・カルドーゾ將軍の演說その他盛大に行はれた

躍進日本の發展振りには先づビツクリした、特に工業の進展と輸出商業界の擴大は日覺ましい云々

市況

（二十日）

賣値　賣値

▼アロトス　アグーリヤ（上）KO　2,000　2,500

▼ブランコ　コツ　KO　500,000　三二,000

カテ　テツ　三三,000　四三,000

▼フエイジョン　ムラチーヤ（上）三五,000　三六,000

同（中）三二,000　三三,000

▼ミリヨ　アマレロ　一三,100　一三,200

アマレロン　一三,400　一三,600

▼クリスタル　ノミナル

▼バタタ　アマレーラ（上）三六,000　三八,000

ブランコ（中）四六,000　四八,000

▼マニヨカ粉　三,300　三,400

ブランコ　大〇　三〇〇

▼マモナ　三,〇〇〇　三,二〇〇

▼棉實　一三,〇〇〇　一三,二〇〇

▼アメンドイン（上）二四,500　二五,000

▼セボーラ　砂糖　一　一

レイド特上　一〇,800　一〇,000

フイッツー「上」六,500　六,000

▼クラスタール　六,000　六,000

▼小麥粉　一三,000　一四,000

▼珈琲　一四,500　二〇,000

▼棉花

野菜部（蔬菜部調）二十日

▲トマテ（箱）　三,000

レポーリヨ（袋）　三,000

エルヴイリヤ（箱）　三,000

▼ピメントン（箱）　一四,000

▼バージエン（箱）　一〇,000

▼ベビーノ（箱）　八,000

▼バタタドーセ（俵）　一三,000

▼ボブリーニヤ（箱）　六,000

セノーラ（束）　一,000

▼コーベフロール　二,000

▼ナス（箱）　八,000

▼玉子（打）　二,000

募集 植字 數名
希望者は直接左記へ
日伯社

尋人廣告

右の者の現住所承知致度に付本人又は御承知の向は當館迄御一報相煩度し

記

山口縣熊毛郡淺江村四十六番地　藤井益尖（戸籍）

元住所　サンパウロ市コンソラソン街二六六二番地

北海道人　元住所　サンパウロ州セントラル線トレメンベー驛

亡銀造長男　箱崎稔（所在調査願）

熊本縣八代郡宮原町大字立神　大塚良雄（戸籍）

元住所　サンパウロ市マリア・アントニア街

熊本縣宇土郡花園村大字立岡　齋藤一雄

愛知縣名古屋市西區花車町　櫻井弘（着信）

靜岡縣庵原郡飯田村下野　青島只市（戸籍）

熊本縣八代郡宮原町大字立神　杉本大藏（着信）

福岡縣山門郡大和村　内田正（着信）

宮崎縣人　日高虎之助（依頼）

昭和十五年八月十九日

在サンパウロ帝國總領事館

Consulado Geral do Japão
Caixa Postal, 1167 São Paulo

電話開通 三一一六四七

サンパウロ市プラツサ・ジョン・メンデス一五四　五階五一—五三號室

日本商業會議所

シヤカラ賣

ブロックリン・パウリスタ新自動車路に面す映畫スタヂオに近し

面積—三五〇〇平方米

價格—三五コ所あり、水質良、住宅及便用人宅有り

希望の方は下記へ照會あれ

サントアマロ道ピラクアラ奥ピラシカーバ街七一二

モラエス・ヘルリング郵園聖市二七四六番

Vicente Fernandes Martinez
Importador 卸商

噴霧器、獨乙製プラツ（攪拌器付）

噴霧器、エツセルシオル

農業藥品、陶器、染料、金物及農用機具等少數の卸注文にも卸値で應じます

Rua Anhangabahú, 804
Teleph. 2-5269 - São Paulo

寫眞　平井

Rua Irmãos Simplicianos, 120

Moveis　Novos e usados. Compra, vende e troca

Alugam-se cadeiras para festas

新古家具類賣買致します　交換

Rua do Ouvidor, 63
Trav. da Rua S. Francisco

BRASIL ASAHI
EX-NIPPAK SHIMBUN
Diario Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno I — São Paulo — 4.a feira, 21 de Agosto de 1940 — Num. 24

BRASIL ASAHI
Ex-Nippak Shimbun
DIRECTOR
José Yamashiro

Redacção — Administração e Officinas
Rua Maestro Cardim, 1109
Telephones: 7-3325 e 7-3326
Caixa Postal, 375

SUCCURSAL:
Rua Irmã Simpliciana, 48
Telephone 2-3926
SÃO PAULO — Brasil

Assignaturas
PARA O BRASIL
Por anno ..... 60$000
Por semestre ..... 30$000
PARA O EXTERIOR
Por anno ..... 120$000

Annuncios
Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para annuncios nesta folha

O policiamento das Concessões Extrangeiras

A attitude do governo Imperial

O ponto de vista do Japão

TOKIO, 16 (Dômei) — "Shanghai situa-se na China e não nos Estados Unidos" — respondeu hoje o porta-voz do Ministerio do Exterior japonez, snr. Suma, ao ser perguntado sobre se o Japão está de accordo com o controlle do sector de defesa evacuado pelos soldados inglezes, pelos norte-americanos

Accrescentou o porta-voz que ignora se os americanos, nas negociações, apresentarão essa exigencia de controlle.

ooo

Shanghai, 16 (Dômei) — Segundo um communicado official hoje dado a conhecer, sobre a conferencia dos commandantes de guarnições extrangeiras, nesta capital, o Comité de Defesa de Shanghai, resolveu, contra o que se esperava, que sejam cedidos aos norte-americanos os postos que até agora eram guarnecidos pelas tropas inglezas, no districto central da cidade e tambem no districto occidental de Hangkow.

Os japonezes encarregar-se-hão— conforme informação official — unicamente do districto occidental da cidade, do qual depende a chamada cidade externa. Os circulos informados manifestam que as disposições do Comité de Defesa não representam uma solução definitiva do conflicto e que a determinação foi tomada apenas por inglezes e norte-americanos, emquanto os italianos se abstiveram de votar e os japonezes se oppuzeram á citada proposta. Conforme noticias japonezes, os nipponicos limitaram sua solicitação aos postos do sector occidental do districto de Hankow, que está situado no oeste do sector de defesa occupado pelos japonezes.

Em Shanghai, culpa-se os inglezes de falta de tatica diplomatica, ao tomar a subita decisão de retirar suas tropas, facto que motivou o conflicto,

ooo

Nova reunião dos commandantes de guarnições extrangeiras

Shanghai, 16 (Dômei) — Convocados pelo vice-almirante Takeda, commandante das forças navaes japonezas de desembarque, os commandantes de guarnições extrangeiras de Shanghai efectuaram uma reunião no Conselho Municipal, que teve a duração de 4 horas, ignorando-se as medidas tomadas nessa conferencia.

ooo

A attitude do governo japonez

Shanghai, 16 (Dômei) — Na reunião da Commissão de Policiamento desta cidade, foi apresentado um plano, em virtude do qual as zonas auto-guardadas pelas tropas britannicas deverão ser divididas entre o Japão e os Estados Unidos, que no momento dispõem de maior numero de guardas.

Entretanto, em vista da attitude tomada pela delegação nipponica, que está firmemente decidida a não reconhecer nenhum plano desfavoravel aos principios geraes da politica imperial, a referida suggestão ficou suspensa.

ooo

Shanghai, 17 (Dômei) — Visando a protecção collectiva da zona internacional, após a retirada das tropas inglezas, a Commissão de Policiamento elaborou na sessão do dia 15, um plano baseado nos dados apresentados pelos representantes inglez e norte-americano.

A referida suggestão foi immediatamente apresentada ao Conselho Administrativo das Concessões Extrangeiras.

Dada a urgencia do problema o presidente do Conselho da Municipalidade convocou hoje uma assembléa extraordinaria para estudar o alludido plano.

O representante nipponico contestou energicamente que o Conselho não póde impôr sem previo estudo o projecto formulado pela Commissão de Policiamento.

Não obstante o protesto nipponico, foi posto em votação sendo approvado pela maioria absoluta de 7 votos contra 1.

Levando, entretanto, em consideração imprescindivel auxilio do Japão na manutenção da ordem publica desta cidade, o Conselho reconheceu ao Imperio o direito de apresentar suas suggestões á Commissão de Policiamento e caso esta venha reconhecer a attitude nipponica será novamente estudado pelo Conselho, para modificação do plano ora approvado.

Foi determinado, outrosim, que a referida decisão tomada pela assemblea será officialmente participada á Commissão.

Conferencia entre os embaixadores inglez e norte-americano acreditados junto ao governo chinez

Tokio, 15 (Dômei) = O embaixador inglez junto ao governo chinez que regressou dia 6 á Shanghai, seguirá brevemente para Chungking onde, segundo informações do jornal "Yomiuri" conferenciará com o embaixador Yankee que se encontra naquella cidade.

Consta que essa conferencia versará sobre assumptos referentes á nova situação creada no Extremo Oriente.

Embaixada Especial de amizade Nippo-Brasileira

Banquete no "Argentina - Marú"

Rio, 19 — Procedente de Kobe, chegou hoje pela manhan o luxuoso transatlantico japonez "Argentina Marú". A bordo dessa unidade da companhia de navegação Osaka Syosen Kaysbia, viajaram para esta capital numerosos passageiros, inclusive a "embaixada especial de amizade nippo-brasileira", constituida de cinco deputados japonezes e de um secretario credenciado.

Preside essa missão o parlamentar Takeo Tanaka, jurista dos mais emminentes de seu paiz e personalidade de larga projecção internacional. Os demais delegadps são os srs. Takehiko Imai, Toyokazu Ishizaka, Eizaku Honda e Masazo Mogami. Occupa o cargo de secretario o sr. Tetsushiro Nishizawa.

Abordado pelos representantes da imprensa, o chefe da missão, sr. Takeo Tanaka, fallou da satisfação que experimentava em vir pela primeira vez ao nosso paiz, do qual já ouvirá os mais expressivos e elogiosos commentarios. Disse que o objectivo unico da missão, como aliás o seu proprio nome indica, é estabelecer um maior e mais estreito intercambio cultural entre o Japão e o Brasil, o que não pode ser feito senão medianie um contacto directo directo e uma permuta de visitas, entre os representantes de um e de outro Estado.

Assim, os deputados japonezes pretendem demorar-se entre nós alguns dias, procurando durante esse tempo, travar relações com os nomes mais em evidencia no scenario politico e intellectual do paiz.

No mesmo navio viajou para o Rio, em goso de férias, o jovem academico japonez Kazu Kuwagima, filho do embaixador do Japão e estudante de Direito da Universidade de Tokio.

Regressou no mesmo transatlantico o academico brasileiro Claudio de Souza, que permaneceu cinco mezes no Japão, a convite do governo de Tokio,

O romancista patricio voltou encantado dessa viagem que fez acompanhado de sua esposa e confessa-se sorrindo que se concedesse uma entrevista teria de escrever um livro para reproduzir tudo o que viu no Japão e na China.

Podemos dizer todavia que ao PEN Clnb de Tokio foi entregue um exemplar da "Anthologia de Contos" brasileiros, organisada pela Academia Brasileira de Letras, afim de que seja elle traduzido para o japonez. O sr. Claudio de Sousa fez tambem entrega aos jornalistas nipponicos de uma mensagem de confraternisação passada pelos seus confrades brasileiros.

Banquete no "Argentina Marú"

Rio, 19 — Representado por um grupo de parlamentares japonezes chegados hoje a bordo do "Argentina Marú", o ministro das Communicações e Estradas de Ferro, sr. Shozo Murata, offereceu um banquete naquella unidade nipponica, ás 21 horas, ao casal Benjamin Vargas, em regosijo pela distincção que recebeu do governo brasileiro, condecorando s. exa. com a Gran Cruz da Ordem do Cruzeiro do Sul e em reconhecimento pelos esforços do coronel Benjamin Vargas no sentido de mais aproximar o Brasil e o Japão.

A sala do banquete estava ornamentada com flores e pequenas bandeiras de todas as nações. Compareceram á homenagem o general Almerio de Moura e senhora, general Silio Portella e senhora, ministro Salgado Filho e senhora, general Beficio da Silva e senhora, commandante Octavio Medeiros e senhora, Luiz Vergara e senhora, Lourival Fontes e senhora, Fernando Falcão e senhora, Luiz Felippe Sampaio, Jarbas de Carvalho e muitas outras altas personalidades da sociedade carioca e membros da embaixrda nipponica.

Amigo

E' o José Yamashiro. Dos "nisei" que, pela diligencia, é a honra da classe de moços de que faz parte. Afóra a minha suave companheira, elle é para mim o que disse que eu sou para elle. "E' o unico amigo que me entende", e "entre os dainisei, o unico amigo que me tem comprehendido".

Das qualidade que elle possue, não vou fallar de todas. Basta uma. Uma vez, estando eu longe, escrevi-lhe agradecendo uns favores taes. Na resposta, me escrevia: "Bonissimo, comprehensivel, amavel, etc., etc. são superlativos que não cabem nem em dez, nem em cem sujeitos chamados José Yamashiro. Mas fique sabendo, bom amigo, que é um consolo, um bem immenso, o ter alguem que me comprehenda. Sou um typo complicado. Faço o possivel para "comprehender" muita gente, ousarei dizer mesmo, todo o mundo, mas poucos, pouquissimos são os que me "comprehendem". E' a simplicidade, a modestia, a despretenção. E' duma sinceridade excepcional.

***

Um rumo. Os que acompanham a vida deste jornal, sabem que houve uma suspensão, — involuntaria da parte de seus dirigentes —, na sua publicação. E elle foi dos que mais se preoccupou com a sua edição. Tudo o que fez, e a publicação ou não desta folha, iriam, certamente, como foram, fixar a trajectoria de sua vida futura. Muitas familias dos que aqui trabalhavam, estavam na dependencia estricta do successo da empreza delle. Quer dizer, elle jogava a propria sorte e a propria vida, com a do jornal. Não cabem palavras para um tal idealismo.

***

Hoje o José chega do Japão. Duma viagem que nem sei dizer se foi longa ou breve. Elle chegará e dirá: "Já voltei", e a gente ficará pensando que elle não esteve tão longe... Em Santos, ao pisar a terra que o fez suspirar nestes poucos mezes, elle abraçará e será abraçado por muitos. Procurará e não me encontrará. Mas terá um sorriso de satisfacção e comprehenderá. Comprehenderá que ha obrigações a cumprir, e sentirá tudo profundamente, como eu, como amigo que é. E sorrirá ao perceber que sou ainda o mesmo amigo de sempre, sempre ao seu lado. Desta vez, elle que me dirá: "Não faz mal". Mas não ha de ser nada, não é? — **M.**

Definição da sentimentalidade nos classicos japonezes

FUMIKO SAISHO

(Conclusão)

Os japonezes tendem, por natureza, a recusar a philosophia. Todavia, o Buddhismo fascinou tanto o povo que elle deixou seus antigos sentimentos nativos mesmo no dominio da litteratura e principiaram a pensar e escrever á moda do Buddhismo. Durante o curso dos proximos passados vinte seculos o gosto buddhista dominou a vida cultural japoneza e constituiu o que agora reconhecemos como sentimentos nipponicos na litteratura e na arte.

O gosto buddhista é profundamente sophista, sempre envolvendo um certo typo de pathetico. Não é um enternecimento humano, como podemos encontrar nas novellas de Dickens. E' um enternecimento que vem da consciencia da futilidade da vida. Ha uma especie de allivio na alegria e tristezas humanas, e um arrisonho ante as loucuras e frioleiras da vida.

A melhor illustração deste facto, na litteratura ingleza, eu encontrei nos "Ensaios" de Charles Lamb. Ha nelles a intimidade que chamo sentimentos buddhistas, e mesmo mais, uma certa profundidade e meditação de attitude está desencaminando em Lamb no sentida estrictamente buddhista. Existe uma bem conhecida anthologia de ensaios classicos japonezes chamada "Tsure-zure gusa" (Reflexões casuaes) feita pelo escriptor buddhista Kenko. Nunca pude ler a obra deste homem sem que me lembrasse de Lamb. Ambos são subtis e delicados. A unica differença entre os dois sendo que em Lamb ha mais do contacto humano e em Kenko mais da retrospecção philosophica.

Não somente no escrever ensaios mas tambem na poesia e novellas, é innegavel a influencia buddhista na litteratura nipponica. O "haikai", o verso poetico de 17 syllabas, é um outro obvio exemplo. Um estudo systematico deste typo da litteratura japoneza revela a grandemente intuitiva natureza dos japonezes, a qual é colorida e modificada pela retrospecção buddhista. Na pintura, o que é chamado "Sumie", — desenho á tinta e pincel somente —, é outra expressão buddhista na arte japoneza. O symbolismo ahi expressado não é explicavel sem o fundo buddhista.

Póde ser denominado sentimentalismo buddhista, então, aquella forma de belleza dos classicos japonezes, que é uma existencia profunda e subtil, por muito tempo para ser estudada e apreciada por aquelles que estejam interessados nos classicos mundiaes.

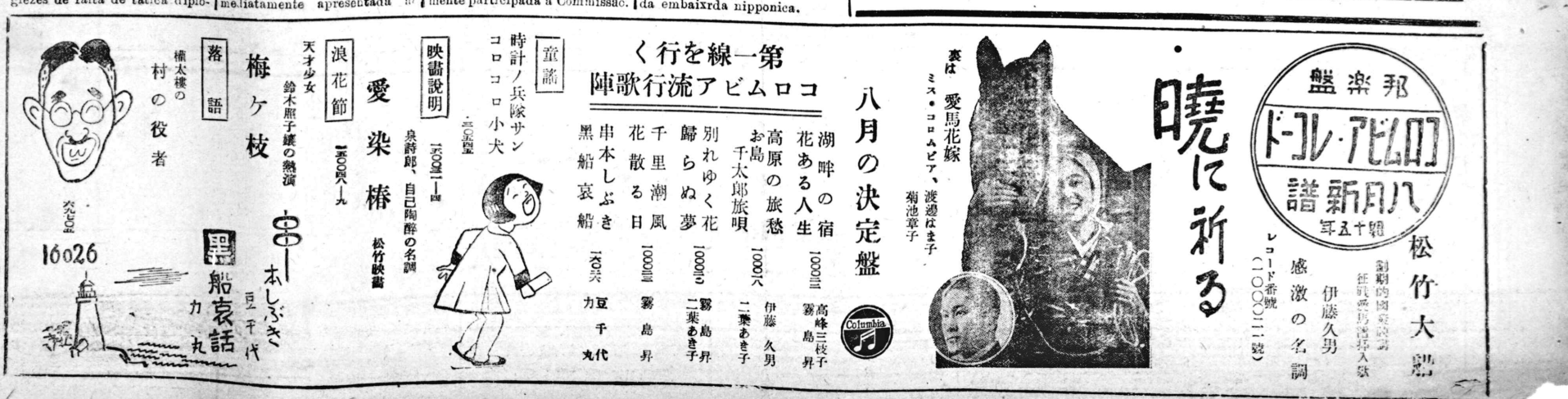
O noticiario telegraphico publicado pelo "BRASIL ASAHI" é fornecido pela Agencia Dômei, japoneza.

Reunião da Commissão de Restabelecimento das relações sino-nipponicas

TOKIO, 14 (Dômei) — Na 1.a reunião da Commissão de Restabelecimento das relações sino-nipponicas que teve sua abertura na manhã de hoje, foram discutidos os pormenores da proposta a ser apresentada ao regimen de Chungking.

Os debates proseguiram, visando sempre o objectivo da commissão.

Consta que a proxima sessão será realizada no proximo dia 17.

Delegação especial ás Indias Hollandezas

TOKIO, 17 (Dômei) — Em vista dos graves acontecimentos da Europa, o governo vem estudando com bastante seriedade o problema de enviar uma delegação especial ás Indias Hollandezas. Ainda nos dias 15 e 16, o primeiro ministro, principe Konoye, esteve em conferencia com os titulares dos principaes ministerios. Foi resolvido nessas conferencias realizar uma segunda entrevista Matsuoka-Koiso para uma remodelação definitiva.